

滋賀の魅力3 快適な生活環境

琵琶湖・自然の恩恵を受ける豊かな暮らし

日本一大きな湖、「琵琶湖」を真ん中に有する滋賀県は、日本全国でも屈指の「環境先進県」であり、また、多くの歴史遺産・文化遺産等が地域の中で大切に引き継がれてきました。その豊かな環境が住み心地の良さとなっています。

プロフィール

- 市 町 数 13市6町
- 面 積 4017.38km²
- 人 口 1,413,610人 (R2国勢調査)
- 人口密度 351.9人/km² (R2国勢調査)
- 平均年齢 45.9歳 全国4位 (R2国勢調査)
- 平均寿命 男性82.73年 全国1位
女性88.26年 全国2位 (R2年都道府県別生命表)



母なるびわ湖と共に

びわ湖を体感する「うみのこ」



びわ湖フローティングスクールは、県内の小学5年生が学習船「うみのこ」に乗船し、びわ湖に親しみ、ふるさとの滋賀や人と触れ合う滋賀県ならではの教育プログラムです。

平成30年6月に、二代目のうみのこが就航し、学習プログラムも一新されました。「環境に主体的に関わる力」や「人と豊かに関わる力」を育むことを目的として、様々な体験学習を実施しています。

滋賀県では、こうした豊かな自然環境を活かした、体験型の教育プログラムを構築しています。

上質な文化・自然・芸術に触れることができる環境



滋賀県は、文化・自然・芸術を楽しむことができる施設も充実しています。

滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールは、日本有数の4面舞台を備え、自主製作オペラの公演など、舞台芸術の拠点として国内外から高い評価を得ています。



琵琶湖は日本で一番大きな湖だけでなく、世界で20数個しかない古代湖の一つであり、その中でも400万年前に誕生した琵琶湖は、世界有数の歴史を持つ古代湖としても知られています。県立琵琶湖博物館では、そんな琵琶湖の価値を五感で体感でき、日本最大級の淡水生物を専門とした水族展示室では、琵琶湖はもちろん、世界の淡水生物も展示している、全国的にもめずらしい総合博物館です。



県立陶芸の森は、やきものを素材に創造・研修・展示など多様な機能を持つ公園です。園内のいたるところにある陶芸家の屋外展示を楽しめるほか、参加型の陶芸教室や作家市などのイベントも開催しています。

琵琶湖や県内各地の観光地を自転車で周遊する「ピワイチ」



琵琶湖一周のピワイチルートは、一周約200km。他の地域では味わうことのできない魅力ある観光地や食、豊かな自然など滋賀の多彩な魅力を体感し、完走したことで得られる達成感、高揚感、満足感があります。令和元年11月には、日本を代表する「ナショナルサイクルルート」にも選ばれました。

また、街道や歴史遺産、絶景、サイクリートレインなど、県内各地をテーマで巡るピワイチ・プラスルートもおすすめです。

県内でのサイクリングをサポートするアプリ「ピワイチサイクリングナビ」もリリースしていきます。ぜひQRコードからダウンロードいただき、ご利用ください。



アウトドアスポーツ&レジャー王国



琵琶湖があり、山々が連なる滋賀では、四季を通じて楽しめるスポーツ&レジャーが自白押しです。アウトドアを楽しめるスポットやスポーツ施設など、休日に気軽に足を運べる場所がたくさんあります。

また、県内には、自然と美しく巧みに調和したゴルフコースが多く、広々とした空間でゴルフが楽しめます。

滋賀県商工観光労働部 産業立地推進室

〒520-8577 滋賀県大津市京町4丁目1番1号
 Tel 077-528-3792 / Fax 077-528-4870
 E-mail fd00050@pref.shiga.lg.jp
<http://www.pref.shiga.lg.jp/zigyousya/ricchi/>

滋賀の3つの魅力

1. 近畿圏・中部圏・北陸圏のクロスポイント

主要都市からの抜群のアクセス

2. 知的資源の集積

世界のモノづくりを牽引するマザー工場や研究開発施設と多彩な学部を有する大学等の知的資源が集積

3. 快適な生活環境

琵琶湖の恵みを受けた豊かな自然と子育てしやすい環境



Mother Lake
 滋賀県

滋賀の魅力 1 近畿圏・中部圏・北陸圏のクロスポイント

主要都市とのアクセスの良さ

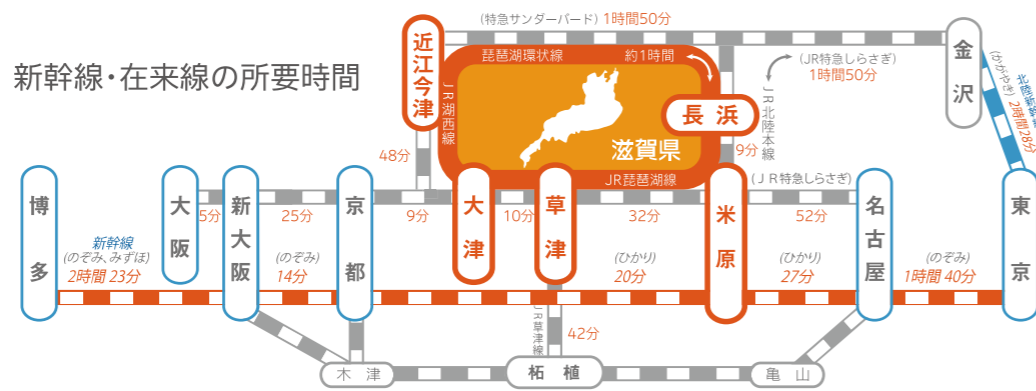
滋賀県は東海道新幹線、名神高速道路、新名神高速道路、北陸自動車道といった主要な広域交通基盤が発達しています。国際港湾・国際空港が100km圏内に複数あり、それらに県内各地から90分以内で移動できるなど、企業活動を行う上で最適な立地環境が整っています。



大津市から関西国際空港
鉄道 109km 89分
道路 107km 100分
米原市から中部国際空港
鉄道 119km 84分
道路 115km 110分
大津市から大阪港
道路 71km 61分
大津市から四日市港
道路 91km 80分
米原市から名古屋港
道路 84km 88分
米原市から敦賀港
道路 57km 54分

*有料道路等を利用

新幹線・在来線の所要時間



地価が安い

滋賀県は周辺地域に比べて地価が安価であり、市場の近接性や交通の利便性と相まって多くの企業様に立地いただいています。

工業地の平均価格(円/㎡)	
(令和4年度都道府県地価調査より)	
大阪府 111,600	滋賀県 27,100
京都府 85,900	岐阜県 20,100
愛知県 59,400	和歌山 20,000
兵庫県 51,300	三重県 19,500
奈良県 40,500	

次代に向けたインフラ整備

道路環境の整備

経済・産業の活力を保ち、高めていくため、次の世代に向けたインフラ整備を着実に進めています。

令和5年1月現在

- 名神高速道路
 - ・(仮称) 多賀スマートIC (事業実施中)
 - ・(仮称) 黒丸スマートIC (事業実施中)
- 新名神高速道路
 - ・新名神大津スマートIC (仮称) (R6年度供用予定)
- 北陸自動車道
 - ・(仮称) 神田スマートIC (事業実施中)

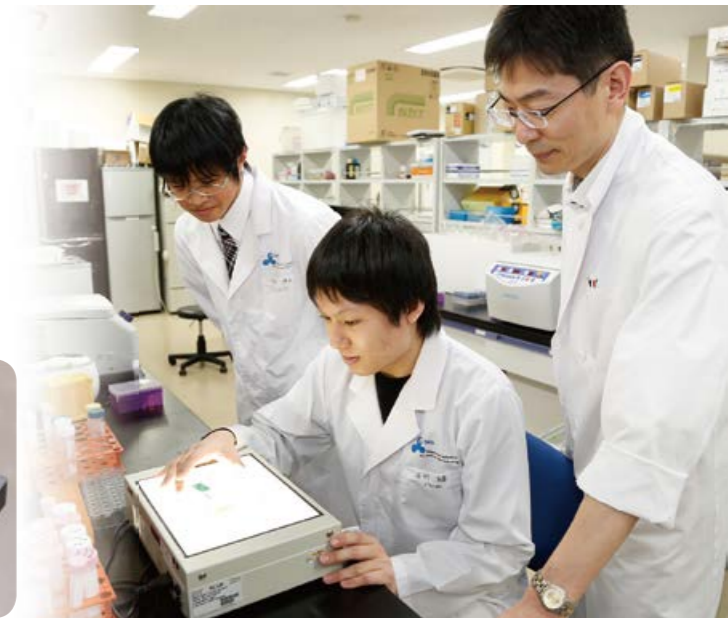


滋賀の魅力 2 知的資源の集積

マザー工場、研究開発拠点の集積

滋賀県は、琵琶湖からの豊富な水源や都市部への交通利便の優位性などを背景に、日本を代表する企業のマザー工場や研究開発拠点が集積し、県内総生産に占める製造業の割合は43.6%と全国1位となっています。(令和元年度県民経済計算)

今後もマザー工場や研究開発拠点の集積を進めるとともに、情報通信業等、成長が期待できる産業の立地も促進しています。



多彩な学部を有する大学の集積

滋賀県は多彩な学部を有する大学等の知的資源の集積も進んでおり、産学連携も盛んに行われています。

また、次世代の技術者を育成する高等専門学校の開校も決定し、知的資源の集積がさらに進み、滋賀県は高度人材の輩出にも期待できます。



滋賀14大学 学問系統別一覧 [2022年度]

大学	文・文化・心理学系	外国語系	経済・経営・商学系	社会学・社会学系	国際関係系	食物・被服・生活科学系	芸術学系	教育・教員養成系	人間科学・総合科学系	看護・スポーツ・保健学系	薬学系	医学・歯学系	理学系	工学系	農・水産学系	環境科学系
滋賀大学		●														●
滋賀医科大学												●				
滋賀県立大学	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
龍谷大学						●										
立命館大学			●													
成安造形大学						●										
聖泉大学	●		●													
長浜バイオ大学																●
びわこ成蹊スポーツ大学										●						
びわこ学院大学・びわこ学院大学短期大学部			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
びわこリハビリテーション専門職大学																
滋賀文教短期大学	●															
滋賀短期大学			●													
放送大学滋賀学習センター																

●これらの領域にまたがる生命科学分野
●すべての領域に係る教養学分野

滋賀県ならではのイノベーションの創出



おうちさんせきかい 近江金石会

県内で操業されている企業の皆様と県、市町等との間で定期的に開催している情報交換会。「金石の交わり」という言葉から名づけられ、変わる事のない固い絆を持った関係づくりを進めています。



滋賀テックプランター

理工系大学やグローバル企業の研究開発拠点が集積する滋賀県の特徴を生かし、起業家を発掘・育成する創業プログラム「滋賀テックプランター」により、大手企業や研究機関との共同研究や製品開発が進んでいます。



マザーレイクゴールズ (Mother Lake Goals)

MLGsは、琵琶湖版のSDGsとして、2030年の環境と経済・社会活動をつなぐ健全な循環の構築に向け、琵琶湖を切り口として独自に13のゴールを設定しています。